

日仏教育学会 2016年度 研究大会

日 時： 2016年10月 2日（日） 午前・午後

会 場： 千葉工業大学新習志野キャンパス

10月1日(土)18:00~20:00 理 事 会 於： 銀座アスター津田沼賓館

10月2日(日)

■ 9:30 ~ 10:00 受 付 新習志野キャンパス 5号館 1階

■ 10:00 ~ 12:00 個人研究発表

第一室 5106教室

第二室 5107教室

□ 12:00~13:00 昼食・休憩

■ 13:00 ~ 14:20 基調講演 1号館 1102教室

ロミュアルド・ボダン (ポワティエ大学准教授)

フランスの大学における教授法、学生の歩みと学問分野ごとの
マトリックス

■ 14:30 ~ 16:50 シンポジウム 1号館 1102教室

〈教育〉する大学 21世紀の像をめぐって

■ 17:00 ~ 17:30 総 会 1号館 1102教室

■ 18:00 ~ 20:00 懇親会 新食堂棟 1階

大会開催委員長 古賀 毅 (千葉工業大学)
TEL. 047-454-9607 / E-mail : koga.tsuyoshi@p.chibakoudai.jp

日仏教育学会事務局：〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1 上越教育大学
学校教育学部 大前研究室内 TEL:025-521-3380 E-mail : ohmae@juen.ac.jp

10月2日(日) 9:30 ~ 受付開始

午前の部 10:00 ~ 12:00 個人研究発表

□ **第一室 5106 教室** 発表時間 各20分 質疑応答 各5分

司会：谷口利律（東京海洋大学非常勤） 石村雅雄（鳴門教育大学）

1. 10:00~10:25 ○京免 徹雄（愛知教育大学） 宮古 紀宏（西九州大学）
生徒指導における校内暴力対策に関する日仏比較
2. 10:25~10:50 吉澤 恭子（秋田大学）
フランスの小学校におけるダンス教育事情
—体育科と音楽科を繋ぐUSEPの役割—
3. 10:50~11:15 岩橋 恵子（志學館大学）
フランス修学リズム改革における地域教育計画(PedT)の意義と課題
4. 11:15~11:40 KIENDREBEOGO Dieudonne (Lycée Provincial de Zorgho,
Burkina Faso: Professeur des Lycées et Collèges)
フランス語圏西アフリカ・ブルキナファソにおける持続発展教育
(L'éducation pour le développement durable : Le cas du Burkina Faso)

総合質疑：11:40~12:00

□ **第二室 5107 教室** 発表時間 各20分 質疑応答 各5分

司会：鈴木 剛（北星学園大学） 飯田史也（福岡教育大学）

1. 10:00~10:25 荒井 宏祐（東京大学大学院）
J.J.ルソーにおける植物観と植物教育
2. 10:25~10:50 平田 文子（横浜リゾート&スポーツ専門学校・浦和学院専門学校非常勤）
デュルケームの道德思想とユダヤ系出自との関係
3. 10:50~11:15 大前 敦巳（上越教育大学）
戦前期の首都圏における国立大学拡張に関する日仏比較
4. 11:15~11:40 大場 淳（広島大学）
フランスにおける大学の連携・統合の現状と課題

総合質疑：11:40~12:00

12:00~13:00 昼食・休憩

午後の部 13:00 ~ 16:50 基調講演・シンポジウム

1号館 1102 教室

後援：千葉工業大学 協賛：千葉工業大学教育センター

【企画趣旨】

高等教育の大衆化は先進国に共通する現象である。各国で長い歴史と伝統をもつ「大学」とそこにおける「大学生」は、その大衆化や社会状況の変化に伴い、その姿を変えざるをえなくなっているのだが、はたしてどの方向に向かい、どのような像を描けばよいのだろうか？ 量的拡大がもたらす質的転換の可能性は？ そしてその際の問題はいずこにあるのだろうか？

近年では大学（教育）が問われるようになってきている。良質の研究がよき教育に連動しないのでは、研究者としての大学教員が必ずしもよき教育者とならないのでは、提供されている教育活動が「大学生」の実情やニーズに見合っていないのでは、といった疑問が、大学の内外から上がっている。大学関係者は自問を重ねつつその状況と日々格闘している。政府や経済界、メディアなどの唱える大学像がはたして実情にかなっているのか、望まれる方向なのかという問題もある。私たちは、大学教育とは何であるのか（何であるべきか）という本質論に加えて、何ができるのか、その人的・文化的資源を生かした可能性はどこにあるのかという議論も十分におこない、発信し、共有していくべきではないだろうか。

本企画では、大学（教育）の課題や可能性をフランスと日本の事例を通して多面的に考察することにしたい。日仏両国に共通する課題、相違する事情は、双方の大学教育が直面する問題をあらためて浮き彫りにすることだろう。開催校・千葉工業大学は現存する国内最古の私立工業大学であるが、専門課程での学習を確実にするための基礎教育の充実や、多様な背景をもつ学生への多方向からの指導などに長年取り組んできた。今回は各学科に共通する工学系基礎教育としての数学の指導実践を紹介して、私立大学の比重が大きな日本の大学教育における問題を考えるきっかけにしたい。会場での活発な議論を期待しています。

13:10~14:20 基調講演

司会：園山大祐（大阪大学）

フランス人招聘研究者 ロミュアルド・ボダン（ポワティエ大学准教授）

Romuald Bodin Maître de conférences à l'Université de Poitiers

演題：フランスの大学における教授法、学生の歩みと学問分野ごとのマトリックス
Pratiques d'enseignement dans les universités françaises,
parcours étudiants et matrices disciplinaires

通訳：田川 千尋（大阪大学）

*大阪大学国際共同研究促進プログラム：「人文科学における日仏研究交流拠点の形成－思想・教育・臨床を中心として－」による招聘。

14:20 ~ 14:30

休憩

14:30~16:50 シンポジウム 〈教育〉する大学：21世紀の像をめぐって

司会：荒井文雄（京都産業大学） 古賀 毅（千葉工業大学）

パネリスト報告 14:40-15:40

1. 14:40~15:05 橋口 秀子／花田 孝郎／星野 慶介（千葉工業大学）
理工系大学における数学教育の課題と学力向上への取り組み
2. 15:05~15:30 大場 淳（広島大学）
大学教育を巡る諸課題の日仏比較
3. 15:30~15:55 岡山 茂（早稲田大学）
大学はいま危機にあるのか、大学の歴史の日仏比較から見えるもの

総合討論 16:00~16:50

17:00～17:30 日仏教育学会 2016年度総会 1号館 1102 教室

18:00～20:00 懇親会 新食堂棟1階

∞ 大会参加要領 ∞

別紙の大会案内下段の参加申込書をご利用下さい。準備の都合上期日までにご通知いただけると幸いです。大会参加費や懇親会費は、当日、受付にてお支払いください。

- 大会参加費：会員 3,000 円（但し、学生の会員は 2,000 円とします）
基調講演における会員外の参加は、参加費を無料とします。
- 懇親会費：4,000 円（但し、学生の会員は 2,000 円とします）
学会事務局宛に予約をお願いします。
- 交通・会場地図：下記の地図をご覧ください。宿泊の予約は各自でお願いいたします。

場所 千葉工業大学新習志野キャンパス

〒275-0023 千葉県習志野市芝園 2-1-1
TEL 047-454-9607（古賀研究室）

交通 交通アクセスについて：<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/shinnarashino/>

○JR 京葉線

新習志野駅南口 徒歩 6 分（東京駅から 31 分）

○JR 総武線

津田沼駅南口下車し、京成バス「新習志野駅行」で「千葉工業大学入口（所要時間 15 分）」下車

会場地図

